

2016年12月13日

## 戸田建設第55回土木技術研究発表会を開催

—技術開発や施工事例14件を発表—

戸田建設(株)(社長:今井雅則)は、11月28日(月)に東京都中央区の本社会議室において、第55回土木技術研究発表会を開催しました。当社は、土木技術の向上と継承および技術職員のレベルアップを目的として同発表会を毎年開催しています。今回は本社会場のほか、テレビ会議システムで地方支店の会議室を中継で結び、総勢274名の役職員が参加しました。

今回の発表会では、3つのセッションに分かれ合計14件の最新の施工技術などを発表しました。内容は、技術開発および施工関連技術セッションで4件、シールド関連技術セッションで5件、トンネル関連技術セッションで5件となりました。なお、技術提携を結んでいる西松建設(株)(社長:近藤晴貞)からも15名が参加し、2件の発表を行いました。

また、研究発表に先立ち、社員間の情報共有、今後の活動推進への理解を深めることを目的とした技術開発に関係する社内ワーキンググループの活動状況などの報告が行われました。

開催にあたり社長は「変化していく状況の中で、常に先を読み、差別化できる技術を開発し、展開していかなければならない。そのためには、現在ある情報を分析し、いま何をしなければいけないのかを予測し、実行していく必要がある」と述べ、さらに「生産性の向上、担い手の確保、安全性の確保と、技術力こそが解決策である」と社員に訴えました。

続いて秋場土木本部長からは、「会社をより良くするために、今は、皆さんが普段考えている開発を実現できる時期である。そして、普段の仕事の改善の積み重ねが大事である」との挨拶がありました。



写真1 今井社長による挨拶



写真2 秋場土木本部長による挨拶